

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）KPI 要因と課題

基本目標1 子育て世帯をターゲットとした教育環境の充実（教育環境）									
学校生活に満足している児童・生徒の割合(①小学生)		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(%)	90.6	92.1	91.9					95.0
R2状況	誘因・要因・課題								
前年度から0.2ポイント下降し、めざそう値に比べて3.1ポイント低い状況です。	<p>ここ数年、横ばいの状況ですが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、様々な学校行事や日常生活での制限があり、満足度を高めていくことが困難な状況にありました。その中であって、この結果は、学校におけるきめ細かな対応の結果であり、ある程度評価すべきであると考えます。</p> <p>今後は、きめ細かな指導・支援を継続するとともに、新しい生活様式の中での満足度の高い活動を教育委員会と学校とが模索していくことが求められます。</p> <p>備考：「学校評価がドライブ」（文部科学省）に従って各学校が行った学校評価の結果を集計して取りまとめています。</p>								
学校生活に満足している児童・生徒の割合(②中学生)		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(%)	91.1	86.3	85.8					95.0
R2状況	誘因・要因・課題								
前年度から0.5ポイント下降しており、めざそう値に比べて9.2ポイント低い状況です。	<p>ここ数年、下降傾向が継続しています。昨年度は、下降の割合は減ったものの課題は大きいと考えます。令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、様々な学校行事や日常生活での制限があり、満足度を高めていくことが困難な状況にありました。中学校では、特に部活動に対する制限が、満足度に対して大きく影響していると考えます。その中であって、この結果は、学校におけるきめ細かな対応の結果であり、ある程度評価すべきであると考えます。</p> <p>今後は、きめ細かな指導・支援を継続するとともに、新しい生活様式の中での満足度の高い活動を教育委員会と学校とが模索していくことが求められます。</p> <p>備考：「学校評価がドライブ」（文部科学省）に従って各学校が行った学校評価の結果を集計して取りまとめています。</p>								
基本的施策 ①安心してきめ細かな教育実現									
みどり市学力調査において、目標値を上回った児童の割合(①小学生)		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(%)	76.5	77.7	71.0					80.0
R2状況	誘因・要因・課題								
前年度から6.7ポイント下降しており、めざそう値に比べて9.0ポイント低い状況です。	<p>目標値に到達していない児童が、令和元年度と比較して大幅に増えています。新型コロナウイルス感染症による影響も考えられますが、課題は大きいと考えます。学校の実態により課題は様々な状況ですので、各学校ごとに実態を分析し、分析結果を基にした授業改善に努めるよう、教育委員会として支援を継続していきます。</p> <p>備考：</p>								
みどり市学力調査において、目標値を上回った児童の割合(②中学生)		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(%)	70.1	71.9	69.7					75.0
R2状況	誘因・要因・課題								
前年度から2.2ポイント下降しており、めざそう値に比べて5.3ポイント低い状況です。	<p>目標値に到達していない児童が、令和元年度と比較して2.2ポイント増えています。新型コロナウイルス感染症による影響も考えられますが、課題は大きいと考えます。学校の実態により課題は様々な状況ですので、各学校ごとに実態を分析し、分析結果を基にした授業改善に努めるよう、教育委員会として支援を継続していきます。</p> <p>備考：</p>								
体力や運動能力に優れた児童・生徒の割合(①小学生)		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(%)	29.3	32.0	—					35.0
R2状況	誘因・要因・課題								
新型コロナウイルス感染症対策のため、全国体力運動能力・運動習慣等調査は実施していませんでしたが、数値による状況分析はできませんでした。	<p>全国体力運動能力・運動習慣等調査は新型コロナウイルス感染症対策のため実施できませんでしたが、各学校ごとに感染症対策を講じながら、できる範囲で体力向上のための活動を工夫して実施しました。このような中、群馬県体力優良校に笠懸東小学校が選出されるなど、成果も見られました。</p> <p>備考：体力・運動能力調査における優良証</p>								
体力や運動能力に優れた児童・生徒の割合(②中学生)		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(%)	19.6	21.5	—					25.0
R2状況	誘因・要因・課題								
新型コロナウイルス感染症対策のため、全国体力運動能力・運動習慣等調査は実施していませんでしたが、数値による状況分析はできませんでした。	<p>全国体力運動能力・運動習慣等調査は新型コロナウイルス感染症対策のため実施できませんでしたが、各学校ごとに感染症対策を講じながら、できる範囲で体力向上のための活動を工夫して実施しました。このような中、群馬県体力優良校に大間々中学校が選出されるなど、成果も見られました。</p> <p>備考：体力・運動能力調査における優良証</p>								

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）KPI 要因と課題

基本的施策 ②子育て世帯の学資援助									
学校生活における経済的支援により子育て環境が良いと思う市民の割合		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(%)		77.9	76.0	80.3					84.0
R2状況		誘因・要因・課題							
前年度から4.3ポイント増加し、めざそう値(R6)に比べて3.7%少ない状況です。		<p>本施策（経済的支援）により、多くの世帯が子育て環境が良くなったと感じていることが、約76～80%（子育て環境が良いと思う市民の割合）という結果に表れているものと考えられます。</p> <p>また、R1年度よりもR2年度の方が4.3ポイント数値が上がりましたが、継続的な実施による本施策への理解や、コロナ禍における経済的支援となったことが数値上昇の要因であると考えられます。</p> <p>なお、めざそう値の達成のためには、本施策内容の周知や更なる理解を図る必要があります。</p>							
備考：まちづくり市民アンケート									
基本的施策 ③将来を担う若者を支援									
奨学金新規利用者数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		8	13	17					53
R2状況		誘因・要因・課題							
R2年度の新規利用者数は4人で、前年度から1人減少しました。H30年度からの累計は17人でめざそう値との差は36人です。		<p>令和2年度より、国が行う高等教育の修学支援新制度として、非課税世帯などの低所得者に対する修学の機会を支援する給付型奨学金制度が始まり、低所得者への支援が手厚くなったことが新規利用の件数に影響を与えている要因の一つと思われます。</p> <p>なお、国の奨学金制度の状況を踏まえ、今後どのような需要がどこにあるか調査・研究していく必要があると考えます。</p>							
備考：市奨学金新規契約者数（H30年度からの累計）									
基本的施策 ④小中一貫教育の導入									
学校生活に満足している児童・生徒の割合（東地域）		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(%)		90.0	85.7	83.3					95.0
R2状況		誘因・要因・課題							
前年度から2.4ポイント下降しており、目指そう値に比べても11.7ポイント低い状況です。		<p>小学校では、満足度が100%であるのに対して、中学校では66.7%と大きく差がありました。調査母数が少数のため、小中学校の差や経年変化の振れ幅が大きく出る傾向にあるのは否めない状況です。この中で、小学校では、特色ある英語教育の継続実施やプログラミング教育の充実など、教育委員会として重点を置いた取組が児童の満足度につながっていると考えます。</p>							
備考：学校評価における学校生活満足度評価（東地域のみ）									
基本的施策 ⑤校外教育への支援									
自主的に学習に取り組む児童・生徒の割合（①小学生）		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(%)		75.0	75.0	80.0					80.0
R2状況		誘因・要因・課題							
前年度から5ポイント上昇し、めざそう値に達した数値となりました。		<p>数値としては、めざそう値を達成した数値になりました。学校の授業改善や家庭の働きかけや意識付けによる改善等が考えられます。しかし、児童の受け止めと家庭の受け止めの間にはギャップがあり、児童の意識に対して家庭の見方は厳しい傾向が続いています。今後もタブレット端末の活用など、学校と家庭とが連携して学力向上に努めることで、家庭においても児童が進んで学習に取り組む様子が理解されるよう取り組んでいきます。</p>							
備考：学校評価における家庭学習評価									
自主的に学習に取り組む児童・生徒の割合（②中学生）		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(%)		76.0	76.0	76.0					80.0
R2状況		誘因・要因・課題							
前年度からは横ばいの状況です。めざそう値に対しては、4ポイント低い状況です。		<p>めざそう値に対してはもう少しの状況となっています。小学校と同様に生徒の受け止めと家庭の受け止めの間にはギャップがあり、生徒の意識に対して家庭の見方は厳しい傾向が続いています。今後もタブレット端末の活用など、学校と家庭とが連携して学力向上に努めることで、家庭においても生徒が進んで学習に取り組む様子が理解されるよう取り組んでいきます。また、キャリア教育を重点とした取組にも力を入れ、生徒の意識改善に努めます。</p>							
備考：学校評価における家庭学習評価									

# みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）KPI 要因と課題

## 基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育て等の希望の実現（結婚・子育て）

合計特殊出生率		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績		1.47	1.40	未公表					1.77
R2状況		誘因・要因・課題							
R2年度の値は未公表です。 【参考】R1年度数値はH30年度から0.05ポイント減少しており、めざそう値（R6）に比べて0.37ポイント少ない状況です。		令和2年速報値：合計特殊出生率（全国：1.34、群馬県：1.41 ※市町村別は未公表）はそれぞれ前年度から全国で0.02ポイント減少、県で0.01ポイント上昇しましたが、ともに低い数値となっています。 令和元年度数値は1.40で、平成30年度の1.45から0.05ポイント減少しました。数値が低下し、めざそう値との差が開いていく傾向にありますので、育児の負担軽減を図るだけでなく、子どもを産み育てたいと思える支援施策や、より多くの人がそう思える環境整備が必要です。							
備考：出生率計算の際の分母の人口数を出産可能年齢（15～49歳）の女性に限定し、各年齢ごとの出生率を足し合わせ、一人の女性が生涯何人の子供を産むのか推計									
年少人口（0～14歳）		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		6,522	6,278	6,122					6,569
R2状況		誘因・要因・課題							
前年度から156人減少しており、めざそう値（R6）に比べて447人少ない状況です。		毎年の出生数が年々減少していることに伴い、年少人口も年々減少しています。これは、みどり市に限ったことではなく、全国や県全体でも同様の推移となっています。出生数の増加を図るとともに、魅力的な教育環境を充実させ、PRすることで、みどり市で教育を受けさせたいと思う人を増やし、子育て世帯の流入促進・流出抑制を図ります。							
備考：住民基本台帳における年少人口（各年度4月末時点）									
基本的施策 ①子育て応援情報の発信									
子育て応援アプリ「みどりん」の年間ダウンロードユーザ数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		259	279	234					300
R2状況		誘因・要因・課題							
前年度から45人減少しており、めざそう値（R6）に比べて66人少ない状況です。		母子健康手帳発行時や出生後の児童手当手続き時に、チラシによりアプリの活用について周知していますが、ダウンロード数は伸びていない状況です。 市のホームページや子育てガイドとQRコード等により連携させ、工夫しながら、複数の媒体で情報を入手できるようにして利便性を向上させ、利用者数を増やします。 また、情報内容は、子育てに係る不安感の軽減のため、より効果的な情報発信を増やします。							
備考：									
基本的施策 ②働く親への支援充実									
保育施設と学童保育施設の待機児童数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		0	0	0					0
R2状況		誘因・要因・課題							
前年度から引き続き0人であり、めざそう値（R6）を維持している状況です。		保育施設と学童保育施設への入所者は、飽和状態ではあるものの、待機児童は発生しておりません。保育施設では、年度が進むにつれて入所者が増え、私的待機（入所施設を限定希望しての待機。他の施設を希望すれば入所可能）が発生するのに対し、学童保育所は年度後半に向けて高学年児童が退所し、減少していく傾向があります。 今後も年度途中での待機児童が発生しないよう、体制を維持していきます。							
備考：保育施設と学童保育施設の待機児童数（各年度4月1日時点）									
基本的施策 ③出産希望者の支援									
出生数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		330	306	未公表					310
R2状況		誘因・要因・課題							
R2年度の値は未公表です。 【参考】R1年度数値は、H30年度から24人減少しており、めざそう値（R6）に比べて4人少ない状況です。		ここ数年の出生数は減少傾向で、令和元年実績も前年より減少しており、全国の出生数も令和2年の人口動態統計月報（概数）では、1899年の調査開始以降、最少（約84万人。前年より約2万4千人減）となっています。人口減少に加えて、晩婚化や晩産化、未婚者の増加、若者の出産に対する考え方の変化等の影響が大きいと推測されますので、これらの課題を一つ一つ解消し、出産・子育てに前向きになれる取組を推進する必要があります。							
備考：群馬県の人口動態統計概況									
基本的施策 ④子育て世帯の経済的支援									
子育ての不安を持つ保護者の割合		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(%)		33.1	30.2	26.7					20.0
R2状況		誘因・要因・課題							
前年度から3.5ポイント向上しましたが、めざそう値（R6）に比べて6.7ポイント低下している状況です。		市民アンケートの結果から、子育てへの親の負担感が不安につながっていることがうかがえます。不安の原因は「子どもとの接し方に自信がない」「子育てによる身体的・精神的な疲労が大きい」「仕事で子育ての時間がとれない」が多くなっています。 その不安を解消できるよう、子育て施策全体で取り組む必要があります。							
備考：まちづくり市民アンケート									

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）KPI 要因と課題

基本的施策 ⑤子育て環境の整備									
地域における子育て支援事業への協力者数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		233	217	196					250
R2状況		誘因・要因・課題							
前年度から21人減少しており、めざそう値（R6）に比べて54人少ない状況です。		<p>数値が減少した理由は、コロナ禍により、指標の基礎となる子育て講座の開催が半減し、ファミリーサポートセンターの会員登録も減少したためです。コロナ禍の状況が改善してくれば、積極的な講座の開催や事業の周知により、協力者数を増やします。</p> <p>備考：子育て応援サポーター認定者数（年間）、子育て応援団登録者数（年間）、ファミリーサポートセンター会員数（育児分）の合計</p>							
基本的施策 ⑥出会いの場の創出									
婚姻届受理数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(件)		209	196	171					230
R2状況		誘因・要因・課題							
前年度から25件減少しており、めざそう値（R6）に比べて59件少ない状況です。		<p>婚姻届の受理件数は減少傾向にあり、令和2年度は前年度比▲25人(87.2%)と前年実績と比べ大きく減少しました。全国的に見ても人口動態統計の調査開始以来、過去最低の件数となりました。未婚化の傾向に加えて、コロナ禍で結婚を控えた人の増加や、出会いの機会が減少したものと推測されます。今後も状況に応じた、出会いの場を創出する取り組みが必要と考えます。</p> <p>備考：住民基本台帳（4月1日～3月31日の合計）</p>							

# みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）KPI 要因と課題

## 基本目標3 みどり市の特性を活かした地域雇用の拡大（はたらく場）

新規求人数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		861	762	971					1,000
R2状況		誘因・要因・課題							
前年度から209人増加しており、めざそう値（1,000人）に比べて29人少ない状況です。		令和元年度(3月)は全国的に見ても、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により製造業や飲食サービス業などの新規求人数が減少していましたが、令和2年度(3月)は新型インフルエンザ特別措置法による制限の解除を見込んだ求人が増加したと推測されます。今後は、新型コロナウイルス感染症の影響により、雇用の維持を図る企業と人材不足企業とのマッチングなど人材確保につながる支援が必要になります。							
		備考：桐生職業安定所管内（各年度3月期の新規求人数）							
基本的施策 ①地域産業の活性化									
商品開発・販路拡大の取組件数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(件)		9	11	11					15
R2状況		誘因・要因・課題							
前年度と同数で、めざそう値（15件）に比べて4件少ない状況です。		令和2年度は、前年度と比べて新商品開発事業及び商品改良事業の応募件数が増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響で展示会等の催事が中止となったことなどから、販路拡大事業の応募件数及び補助金額が減少となりました。今後は、補助制度のさらなる周知と、令和2年度に実施した利用者アンケートの分析等による補助制度の見直しを図る必要があります。							
		備考：新商品開発チャレンジ支援補助事業の年間補助件数							
認定農業者数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		185	187	187					185
R2状況		誘因・要因・課題							
前年度と比べ、横ばいです。めざそう値（R6）に比べて2人多い状況です。		既存の認定農業者の更新のみで、新規の認定農業者がいまいませんでした。今後、後継者のいない認定農業者は、高齢化による取り消しが懸念されています。新規担い手の掘り起こしが必要です。							
		備考：市の認定する認定農業者数							
基本的施策 ②産業の担い手育成									
新規林業従事者数		(H29)	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		9	4	0					5
R2状況		誘因・要因・課題							
前年度から4人減少しており、めざそう値（R6）に比べて5人少ない状況です。		研修生の受入等を行っている林業家もいましたが、市内での就業には至りませんでした。なお、みどり市地域おこし協力隊では林業従事希望者を積極的に受け入れており、令和2年度にはそのOG1名が林業に従事しています。今後も林業従事者候補の受け皿としての機能を発揮していくことが期待されます。また、令和元年から「林業体験イベント」を実施しておりますが、林業従事者を増加させるためには内容や対象の検討が必要と考えます。							
		備考：林業従事者実態調査							
新規就農者数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		3	8	1					5
R2状況		誘因・要因・課題							
前年度から7人減少しており、めざそう値（R6）に比べて4人少ない状況です。		前年度はめざそう値を超える新規就農者があり、その半数はUターン就農でしたが、出身が農家ではない新規参入者も2名いました。令和2年度の新規就農者は1名で、過去5年間で最も少ない人数でした。Uターン就農が減少したことが要因の一つと考えられます。収入の向上や安定のほか、新技術の導入などで農業の魅力を高めていく必要があります。							
		備考：新規就農者実態調査							
市の融資制度を活用した開業者数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(事業所)		12	12	12					18
R2状況		誘因・要因・課題							
前年度と同数で、めざそう値に比べて6事業所少ない状況です。		令和2年度における市の融資制度を活用した開業者数は12事業所と横ばいであり、新型コロナウイルス感染症の影響により、開業を考える事業者が少ないことが推測されます。現状、新型コロナウイルスの終息が見通せない中でも、開業支援につながる対策が求められています。							
		備考：起業家チャレンジ資金貸付事業延べ利用者数							

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）KPI 要因と課題

基本的施策 ③産業活性化の基盤づくり									
市の優遇制度を利用し市内に事業所を新設・増設等した件数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(件)	0	1	3					2
R2状況	誘因・要因・課題								
前年度から2件増加しており、めざそう値に比べて1件多い状況です。	<p>大型店舗の出店等により、優遇制度の利用件数は前年度から2件増加しました。優遇制度を積極的に周知したことで利用件数が増えたと思われます。また、チェーン店(小売業)の利用が増加傾向にあり、制度内容の見直しも検討が必要です。一方で、増設・移設等を検討する市内企業が、土地等を確保できず市外に流出するケースもあります。</p>								
備考：企業立地促進事業の指定事業所数（新規）									

# みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）KPI 要因と課題

## 基本目標4 安心して住み続けられる環境づくりと移住促進（移住促進）

社会増減数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績	195人減	40人減	147人増					118人減

R2状況	誘因・要因・課題								
前年度から187人増加しており、めざそう値（R6）と比べて265人多い状況です。	令和2年度においては、転入者数は1,571人で前年度比▲96人（94.2%）、転出者数は1,424人で前年度比▲283人（83.4%）となり、147人の社会増となりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により社会活動が抑制され、首都圏への転出や、ライフステージの変化に伴う異動が減少し、大幅な転出抑制となったことが要因と考えられます。一方で、転入者数は前年度よりは減少したものの、6%減にとどまりました。ウィズコロナ、アフターコロナの時代に合った、住みやすいまちづくりをすることが、KPIの向上につながるものと考えます。								
備考：住民基本台帳（4月1日～3月31日の合計） 転入者数－転出者数									

### 基本的施策 ①遊休資産の有効活用

空き家バンク登録物件活用件数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(件)	3	0	0					4

R2状況	誘因・要因・課題								
前年度と同様で0件となっており、めざそう値（R1）と比べて4件少ない状況です。	2年続けて活用件数が0件となりました。令和2年度事業として、令和2年12月と令和3年2月に空家実態調査で判明した所有者に対し、空き家バンクの登録を依頼しました。今後は、空き家バンク登録件数の増加が見込まれますが、引き続き活用件数の増加を図るため、無料相談会等を計画していく必要があります。								
備考：空き家バンク登録台帳									

### 基本的施策 ②転入者への積極的支援

転入者数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(人)	1,545	1,667	1,568					1,550

R2状況	誘因・要因・課題								
前年度から99人減少しておりますが、めざそう値（R6）と比べて18人多い状況です。	平成30年度から令和元年度にかけて、それまでの減少傾向から一時増加に転じたものの、令和2年度に再び減少しましたが、めざそう値については上回る結果となりました。なお、転出者数も前年度と比較して令和2年度は減少しましたが、県全体においても減少しており、転入者数が転出者数を上回る結果となりました。このことは、新型コロナウイルス感染症の影響により、首都圏との往来が減少したことが要因と思われます。コロナ禍の中、地方移住の志向が高まっているため、引き続きオンラインによる移住相談や子育てや住宅支援施策などの定住に関する情報を集約して発信し、市の魅力や住みやすい環境をPRしていく必要があります。								
備考：住民基本台帳（4月1日～3月31日の合計）									

新規住宅建築件数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(件)	185	240	185					185

R2状況	誘因・要因・課題								
前年度から55件減少しており、めざそう値（R6）と同件数となっています。	令和元年度は消費税が10%に増税されたことによる駆け込み需要があったため、その反動による減少や、社会情勢の影響により、前年より55件少ない実績となりましたが、平成30年度と同様の実績でした。引き続き新築住宅建築による定住人口の増加を図るため、子育てや住宅支援施策などの定住に関する情報を集約して発信し、市の魅力や住みやすい環境をPRしていく必要があります。								
備考：固定資産の価格等の概要調書									

# みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）KPI 要因と課題

## 基本目標5 地域特性に応じた魅力発信と定住促進（観光）

観光客入込数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(万人)		241	233	141(10月確定)					300
R2状況		誘因・要因・課題							
前年度から92万人減少しており、めざそう値(R6)に比べて159万人少ない状況です。		緊急事態宣言の発令に伴い観光施設の休館を余儀なくされたとことや、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、夏まつりや関東菊花大会等の各種イベントが中止となったことが減少の大きな要因と考えられます。対策として、個人旅行や非接触型での誘客事業等を実施してきましたが、前年度を大きく下回る実績となりました。令和3年度においても新型コロナウイルスの影響が続いていることから、ニューノーマルに対応した新たな観光スタイルの提案やコロナ終息後の準備が課題となります。							
		備考：観光客数・消費額調査							
基本的施策 ①多様な媒体で魅力発信									
SNSフォロワー数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		1,030	2,150	3,580					3,000
R2状況		誘因・要因・課題							
前年度から1,430人増加しており、めざそう値(R6)に比べて580人多い状況です。		観光課が開設したInstagramにおいては、観光地のタイムリーな情報や花の開花状況などを定期的に投稿したことや新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛等も影響し、フォロワー数の増加に繋がったと考えられます。今後も、定期的な投稿を継続し更に多くの方にみどり市の魅力を紹介することでコロナ終息後の集客に繋げることが必要となります。							
		備考：Instagramみどり市公式アカウント							
みどり市観光ガイドの会利用者数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		3,797	4,336	420					6,000
R2状況		誘因・要因・課題							
前年度から3,916人減少しており、めざそう値(R6)に比べて5,580人少ない状況です。		新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、団体客の減少が大きな要因となります。今後は、コロナ終息後の活動を見据え、みどり市観光物産協会などの観光関連団体と連携した新規顧客獲得のための効果的なPR、会員のスキルアップや新規会員の募集を継続して行いコロナ終息後の利用者の回復に向けた対応が必要となります。							
		備考：みどり市観光ガイドの会実績報告書							
基本的施策 ②交流ゾーンの整備									
観光資源数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(件)		31	34	34					35
R2状況		誘因・要因・課題							
前年度から増減はなく、めざそう値(R6)に比べて1件少ない状況です。		群馬デスティネーションキャンペーンの開催を見据え令和元年度には3件増加し、令和2年度では新型コロナウイルス感染症の影響により、団体から個人旅行の誘客事業へシフトした個人旅行誘客事業において市内資源の再発見等に取り組んだことから令和2年度は横ばいの状況です。今後は、夏まつりや各イベントの見直しを進める中での魅力的な観光資源の増加が課題となります。							
		備考：群馬県観光地点等名簿							
基本的施策 ③観光の広域連携									
市内全駅の年間乗降客数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(万人)		166	164	108					169
R2状況		誘因・要因・課題							
前年度から56万人減少しており、めざそう値(R6)より61万人少ない状況です。		令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、鉄道利用者は大幅に減少し、前年度比65%となりました。基本的施策である観光の広域連携として鉄道の年間乗降客数をKPIとしておりますが、緊急事態宣言等により移動の自粛が求められており、コロナ下では観光目的での利用が減少するため、KPIの向上は難しい状況です。ウィズコロナ、アフターコロナの時代に合わせた取り組みが課題となっています。							
		備考：鉄道各社の市内駅乗降客数を集計							
基本的施策 ④独自イベントの実施									
各種イベント開催時の観光客数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		236,524	195,577	5,000					260,000
R2状況		誘因・要因・課題							
前年度から190,577人減少しており、めざそう値(R6)に比べて255,000人少ない状況です。		令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和3年3月開催のカタクリさくらまつりを除き、その他のイベントは全て中止となり観光客数は大幅に減少しています。今後は、夏まつりや各イベントの見直しなど各実行委員会や関係団体との調整を進め、市民意識の向上を図りながら、交流人口や市内消費の増加に繋げるための目標達成に向けた事業推進が課題となります。							
		備考：観光客数・消費額調査のうちイベントの観光客数							



# みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）KPI 要因と課題

## 強化目標A 民間との協働を推進（民間協働）

ボランティア・NPO活動をしている市民の割合		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(%)	11.8	14.2	11.7					25.0

### R2状況 誘因・要因・課題

前年度から2.5ポイント減少しており、めざそう値（R6）に比べて13.3ポイント低い状況です。	<p>コロナ禍の影響で活動の自粛もあり、前年度より減少しています。市民活動に興味や関心がない市民の割合が半数近くを占める一方、今後、参加してみたい市民の割合も3割ほどあるため、市民活動に関する情報を発信し、市民が活動に参加しやすい環境を整えていく必要があります。</p> <p>備考：まちづくり市民アンケート</p>
---	--

連携により実施した事業数(企業・団体)		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(事業)	47	50	55					55

### R2状況 誘因・要因・課題

前年度から5件増加しており、めざそう値（R6）を達成している状況です。	<p>新たな包括連携先も2団体増え、また、桐生大学・新田みどり農協とは定期的に会議を開催し、順調に連携事業を実施しているため、めざそう値を達成することができました。今後も継続して連携し事業の強化を図る取り組みを推進していきます。</p> <p>備考：包括的な連携協定に基づき実施した延べ事業数</p>
-------------------------------------	--

## 基本的施策 ①ボランティア・NPOとの協働

地域活動に取り組む市民団体数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(団体)	56	60	59					70

### R2状況 誘因・要因・課題

前年度から1件減少しており、めざそう値（R6）に比べて11件少ない状況です。	<p>市ホームページに掲載を希望する団体が、会員の高齢化や将来の担い手不足などにより1団体減少しています。今後も、市民活動に関する情報を発信し、市民が活動に参加しやすい環境づくり取り組み、市民活動の活性化を推進するとともに新規設立団体や既存団体の掘り起こしに力を入れる必要があります。</p> <p>備考：市が把握しているボランティア・NPO団体数</p>
--	--

## 基本的施策 ②企業・団体との協働

連携協定を締結している企業・団体数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(団体)	6	6	8					8

### R2状況 誘因・要因・課題

前年度から2件増加しており、めざそう値（R6）を達成している状況です。	<p>団体からの連携協定の締結の申し入れを受け、連携して活動を行うことによる、さらなる市民サービスの向上や地域の活性化をめざし、協議を進めたところ、新たに2団体と連携協定を締結することができました。引き続き、多様な団体と連携し、協働して活動を行うことにより、地域の活性化や市民サービスのより一層の向上を図ります。</p> <p>備考：市との包括的な連携協定を締結している企業・団体等の数</p>
-------------------------------------	---

# みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）KPI 要因と課題

## 強化目標B 誰もが活躍できる地域社会を実現（全員活躍）

生きがいを持っている高齢者割合		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値	
	実績(%)	80.9	81.2	79.6					88.0	
	R2状況	誘因・要因・課題								
前年度から1.6ポイント減少しており、めざそう値（R6）に比べて8.4ポイント低い状況です。	新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、地域活動（ボランティア等）や就業の場などの提供、周知が不足していたことが要因であると考えられます。社会参加による生きがいを持った高齢者の増加が図れるよう、コロナ禍における感染症対策を行いながらの地域活動や就業促進の普及啓発を工夫して行う必要があります。									
備考：まちづくり市民アンケート										
男女共同参画社会が実現していると思う市民の割合		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値	
	実績(%)	62.9	63.6	55.6					75.0	
	R2状況	誘因・要因・課題								
前年度から8ポイント減少しており、めざそう値（R6）に比べて19.4ポイント低い状況です。	前年より割合が減少した要因の1つとして、コロナ禍による一斉休校等により、子どもを持つ女性の休業など、仕事への影響や、家族が家庭と一緒に居る時間が増えたことにより家事・育児時間が増大したものの、夫婦間の家事・育児役割分担割合は変わっていないため、女性の家事・育児負担の増加が影響しているものと考えられます。そのため、継続した男性の家事育児参加等に関する啓発活動を行うことにより、「男は仕事、女は家庭」といった固定的性別役割分担意識や無意識の偏見を解消していく必要があります。									
備考：まちづくり市民アンケート										
企業の障がい者雇用率		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値	
	実績(%)	2.09	1.84	2.01					2.30	
	R2状況	誘因・要因・課題								
前年度と比べて0.17ポイント増加しており、目指そう値（R6）に比べて0.29ポイント少ない状況です。	市内の対象企業39社のうち27社が障がい者雇用を行っています。障がい者を雇用する企業は前年度に比べ、6社増えています。障がい者に対する理解促進に向けた事業の実施や障がい者の就労支援に関わる関係機関との連携を強化し、雇用の拡大に努めていく必要があります。									
備考：桐生職業安定所集計のうちみどり市分										
基本的施策 ①健康維持で生涯活躍										
健康のために実践している平均項目数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値	
	実績(項目)	4.7	4.8	4.8					7.0	
	R2状況	誘因・要因・課題								
前年度と変わりがなく、めざそう値に比べて2.2ポイント低い状況です。	まちづくり市民アンケートの回答では、前年度に比べ「過度の飲酒をしない」は2.7ポイント、「間食をしない」は、3.4ポイント増加しましたが、「年に1回は健診(検診)を受ける」が3.2ポイント、「朝食を毎日とる」が2.3ポイント減少し、全体的な実践項目数は変わりませんでした。健診(検診)受診は、新型コロナウイルス感染症の影響も考えられます。実践割合の少ない「間食をしない」「週1回60分以上又は週2回30分以上の運動」「塩分を控える」を増やしていくことは、生活習慣病の発症や重症化予防につながるためにも大切です。									
備考：まちづくり市民アンケート										
基本的施策 ②女性の社会進出支援										
女性就労支援のための相談会・研修会実施回数（年間）		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値	
	実績(回)	2	2	0					2	
	R2状況	誘因・要因・課題								
前年度から2件減少しており、めざそう値（2回）に比べて2回少ない状況です。	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により予定していたジョブカフェ・マザーズセミナー及び就職面接会が中止となったことにより減少しています。女性が家事や子育てに制限されることなく社会に参画しやすい環境になるよう、群馬県や関係機関と連携し取組を推進していく必要があります。									
備考：県・市などが主催する相談会・研修会実施回数										
審議会等における女性委員の割合		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値	
	実績(%)	26.2	28.6	28.8					35.0	
	R2状況	誘因・要因・課題								
前年度から0.2ポイント増加しており、めざそう値（R6）に比べて6.2ポイント低い状況です。	女性委員の割合は微増していますが、めざそう値には届いていない状況であり、各所属の所管する審議会等においては男性委員の割合が多い状況は変わっていません。令和2年度については「みどり市審議会等の取扱いに関する指針」に基づき、各所属への働きかけが十分でなかったため、今後は積極的に働きかけを実施し、女性委員の推進を推進してきます。									
備考：市政に関する審議会等の女性委員割合										

## みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）KPI 要因と課題

基本的施策 ③障がい者の自立と共生									
自立支援給付を受けて地域生活している人数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		401	410	438					550
R2状況		誘因・要因・課題							
前年度と比べて、28人増加しており、目指そう値（R6）に比べて112人少ない状況です。		<p>自立支援給付を受けて生活する人が増えている理由の一つに、相談支援事業事業所等の関係機関が、障がいのある方へサービスの案内を行い、必要な支援につなげられている結果だと考えます。</p> <p>引き続き、障がい福祉サービスの周知・啓発を行い、自立支援給付の拡大に努めていく必要があります。</p>							
		備考：自立支援給付事業利用者数							

# みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）KPI 要因と課題

## 強化目標C 都市部・他地域からのひとや資金の流れを強化（交流促進）

連携により実施した延べ事業数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(事業)		53	53	57					65
R2状況	誘因・要因・課題								
前年度から4件増加しており、めざそう値（R6）に比べて8件少ない状況です。	令和2年度は4件増加しました。両毛広域都市圏総合整備推進協議会事業は、順調に実施しています。桐生市との連携事業についても、桐生・みどり未来創生会議を設置し、両市の連携について協議を進めたことにより、新たな事業を実施することができました。今後も、関係人口の増加や効率的な事業を推進するため、近隣自治体や都市部の自治体などと連携や交流を推進していく必要があります。								
備考：他自治体との協議会・協定等に基づき実施した延べ事業数									
基本的施策 ①地域間交流・連携の推進									
交流人口増加を目的に連携している自治体数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(自治体)		12	12	12					15
R2状況	誘因・要因・課題								
前年度と同様の数値であり、めざそう値（R1）に比べて3自治体少ない状況です。	「両毛広域都市圏総合整備推進協議会」で連携する両毛地域10自治体及び都市間交流事業で連携する東京都墨田区、台東区の合計12自治体であり、平成30年度から自治体数は変わっていません。今後も、自治体間の様々なつながりやきっかけを活用し、交流人口増加を目的とした都市間連携を推進していきます。								
備考：包括連携組織・都市間交流等により連携している自治体数									
基本的施策 ②地方創生のための財源確保									
ふるさと納税件数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(件)		130	178	278					200
R2状況	誘因・要因・課題								
前年度から100件増加しており、めざそう値（R6）に比べて78件多い状況です。	近年で最多の実績となりました。令和元年度より徐々に返礼品の充実を図っており、返礼品を追加したことが、要因と考えられます。引き続き、返礼品の充実やPRに努め、みどり市の応援者の増加を図ります。								
備考：ふるさと納税申込件数									